

医療と介護の連携：医療従事者への調査

最初に、あなたやあなたの所属されている
医療機関について

問1 あなたが所属されている医療機関を教えてください。(1つに○)

- | | |
|----------------------------|----------------|
| 1. 病 院 | |
| 2. 一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出有） | |
| 3. 一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出無） | |
| 4. 歯科診療所 | 7. 病院の地域連携室 |
| 5. 薬 局 | 8. その他 |
| 6. 訪問看護ステーション | 〔具体的に： _____ 〕 |

※ もし差し障りがないようでしたら、あなたが所属している医療機関や診療科、事業所の名称、及びスタッフ数をお書きください。

医療機関等の名称：

- | | | |
|-------|--------------------|--------------------------|
| | 1. 医 師（ _____ 人） | 4. 看護師（ _____ 人） |
| スタッフ数 | 2. 歯科医師（ _____ 人） | 5. 訪問看護師（ _____ 人） |
| | 3. 薬 剤 師（ _____ 人） | 6. 医療ソーシャルワーカー（ _____ 人） |

問2 あなたの職種は次のどれですか。(1つに○)

- | | | |
|---------|----------|----------------|
| 1. 医 師 | 3. 薬 剤 師 | 5. 訪問看護師 |
| 2. 歯科医師 | 4. 看護師 | 6. 医療ソーシャルワーカー |

問3 あなたが所属されている医療機関や事業所の所在地はどこですか。(1つに○)

1. 第1地区	多磨町、朝日町、紅葉丘、白糸台1～3丁目、若松町、浅間町、緑町
2. 第2地区	白糸台4～6丁目、押立町、小柳町、八幡町、清水が丘、是政
3. 第3地区	天神町、幸町、府中町、寿町、晴見町、栄町、新町
4. 第4地区	宮町、日吉町、矢崎町、南町、本町、宮西町、片町
5. 第5地区	日鋼町、武蔵台、北山町、西原町、美好町1～2丁目、本宿町3～4丁目、西府町3～4丁目、東芝町
6. 第6地区	美好町3丁目、分梅町、住吉町、四谷、日新町、本宿町1～2丁目、西府町1～2、5丁目

在宅療養支援への取り組み状況についておたずねします

問4 あなたの府中市民への在宅療養支援への取り組み状況についておたずねします。次の(1)は医師の方、(2)は歯科医師・薬剤師、(3)は看護師、(4)は訪問看護師、(5)は医療ソーシャルワーカーの方がそれぞれお答えください。

(1) (医師の方) あなたは、平成 25 年9月中に在宅療養支援を行いましたか。(①~③それぞれ1つに○)

	行った	行わなかった
①訪問診療・往診	1	2
②訪問看護ステーションへの指示書の交付	1	2
③在宅での看取り	1	2

【次は問5へ進んでください】

(2) (歯科医師、薬剤師の方) あなたは、平成 25 年9月中に在宅療養支援を行いましたか。(①・②それぞれ1つに○)

	行った	行わなかった
①歯科医師による訪問診療	1	2
②訪問調剤管理(薬剤師が患者宅を訪問して服薬状況を確認し新しい薬剤を配置)	1	2

【次は問5へ進んでください】

(3) (看護師の方) あなたの平成 25 年9月中の活動状況をお答えください。(①~③それぞれ1つに○)

	行った	行わなかった
①訪問診療・往診時の看護	1	2
②訪問看護ステーション等への支援	1	2
③在宅での看取りの支援	1	2

【次は問5へ進んでください】

(4) 訪問看護師の方) あなたの平成 25 年9月中の活動状況をお答えください。(①~③それぞれ1つに○)

	行った	行わなかった
①緊急対応時の訪問看護	1	2
②医療保険による訪問看護	1	2
③在宅での看取り	1	2

【次は問5へ進んでください】

	い ほ と ん ど と つ て い ない	い あ ま り と つ て い ない	い あ る 程 度 と つ て い る	よ く し ら せ る
記入例) サービス利用者のかかりつけ医	①	2	3	4
オ. 地域包括支援センター	1	2	3	4
カ. 訪問看護ステーション	1	2	3	4
キ. 訪問・通所リハビリテーション	1	2	3	4
ク. ケアマネジャー	1	2	3	4
ケ. 訪問介護（ヘルパー）	1	2	3	4
コ. 通所介護（デイサービス）	1	2	3	4

問10 あなたは、今後在宅医療に関してどのようにお考えですか。（1つに〇）

1. 関心がある →問 11へ
2. 積極的に関わりたい
3. 関心がない →問 11へ

問 10-1 問 10で「2. 積極的に関わりたい」と回答した方におたずねします。
どのように関わりたいとお考えですか。具体的にお書きください。

問11 あなたは、医療職と介護職が連携するために、どのようなことが充実するとよいと思いますか。（いくつでも〇）

1. 医師・歯科医がケアマネジャーの相談を受けるケアマネタイムの充実
2. 在宅療養者の情報を共有化する統一フォーマットの作成
3. 医療と介護の連携マニュアルの作成
4. 医療関係者と介護関係者が情報交換できる交流の場の確保
5. 在宅療養者の緊急時用のベッドの確保
6. 関係者のためのネット上で連絡がとれるようなしくみ
7. 医療（病院・診療所）と介護との役割分担
8. その他〔具体的に： 〕

問15 あなたの医療機関では、在宅医療支援ベッドを確保していますか。(1つに○)

1. 確保している→()床 →(問16へ) 2. 確保していない

問 15-1 問 15 で「2. 確保していない」と回答した方におたずねします。
今後在宅支援ベッドを確保する計画がありますか(1つに○)

1. ある→平成()年 2. 検討中 3. ない

問16 あなたは、介護関係者との情報交換の機会を確保していますか。(1つに○)

1. 確保している→1か月平均()時間程度 2. 確保していない

問17 あなたは、ケアプランの送付と受け取りの必要性についてどのようにお考えですか。(1つに○)

1. 必要性を感じている 3. あまり必要性を感じていない
2. やや必要性を感じている 4. 全く必要性を感じていない

問18 あなたは、介護保険制度及び介護サービスの内容についてどの程度習熟していますか。(1つに○)

1. 十分理解している 3. あまり理解していない
2. やや理解している 4. 全く理解していない

問19 あなたは、介護従事者にどのようなことを期待していますか。(いくつでも○)

1. 医療の知識を深めてほしい
2. 介護職としての専門性や技術力を向上してほしい
3. 本人及び介護現場の状況を積極的に医療職に伝える努力をしてほしい
4. ケアマネジャーとの連携を密に行ってほしい
5. その他〔具体的に： _____〕
6. 特に期待はしていない

【次は問47へ進んでください】

歯科医師の方におたずねします【問20～問27】

問20 あなたは、訪問歯科診療や往診を行っていますか。(1つに○)

1. 行っている 2. 行っていない →問20へ

問 22-1 問 22 で「4. 届出を行う予定はない」と回答した方におたずねします。
その理由はつぎのどれですか。(いくつでも○)

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 時間がない | 6. 摂食・嚥下障害への対応がわからない |
| 2. 報酬が少ない | 7. 自分がしなくてもいいと思う |
| 3. 特に要請がない | 8. 面倒である |
| 4. 保険請求がわからない | 9. その他 |
| 5. 在宅の歯科治療は難しいので不安 | 〔具体的に： _____ 〕 |

問23 あなたは、在宅で療養生活を送っている府中市民の方の主治医と連携していますか。(1つに○)

- | | |
|-------------------|------------|
| 1. 連携している →問 24 へ | 3. 連携していない |
| 2. あまり連携していない | |

問 23-1 問 23 で「2. あまり連携していない」、「3. 連携していない」と回答した方におたずねします。その理由はつぎのどれですか。(1つに○)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 必要と思わない | 3. その他 |
| 2. 連携の方法がわからない | 〔具体的に： _____ 〕 |

問24 あなたは、在宅で療養生活を送っている府中市民の方のケアマネジャーと連携していますか。(1つに○)

- | | | |
|-----------|---------------|------------|
| 1. 連携している | 2. あまり連携していない | 3. 連携していない |
|-----------|---------------|------------|

問25 あなたは、訪問歯科診療等以外の通常の歯科診療の中で、摂食・嚥下障害のある患者に対して、摂食・嚥下に関する指導等を行っていますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|-----------|
| 1. 行っている →問26 へ | 2. 行っていない |
|-----------------|-----------|

問 25-1 問 25 で「2. 行っていない」と回答した方におたずねします。行っていない理由はつぎのどれですか。(いくつでも○)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 知識がない | 4. 行うつもりはない |
| 2. 研修や勉強する場がない | 5. その他 |
| 3. 一人で対応するのは不安 | 〔具体的に： _____ 〕 |

問26 あなたは、医療と在宅ケアの間で、どんなことに苦労していますか。具体的にお書きください。

問27 あなたは、介護従事者にどのようなことを期待していますか。(いくつでも○)

1. 医療の知識を深めてほしい
2. 介護職としての専門性や技術力を向上してほしい
3. 本人及び介護現場の状況を積極的に医療職に伝える努力をしてほしい
4. ケアマネジャーとの連携を密に行ってほしい
5. その他〔具体的に： _____ 〕
6. 特に期待はしていない **【次は問 47 へ進んでください】**

薬剤師の方におたずねします【問 28～問 32】

問28 あなたは、在宅患者訪問薬剤管理指導（居宅療養管理指導）の届出を行っていますか。(1つに○)

1. 行っている
2. 行っていない →問 28-4 へ

問 28-1 問 28 で「1. 行っている」と回答した方におたずねします。あなたの薬局を利用されている方の中に、現在、在宅患者訪問薬剤管理指導（居宅療養管理指導）を利用している府中市民の方はいますか。(1つに○)

1. いる → () 人
2. いない

問 28-2 あなたは、医師との連携はどのようにとっていますか。(1つに○)

1. 処方箋のみのやりとり→問 29 へ
2. 処方箋以外の連携や指示がある
3. その他〔具体的に： _____ 〕 →問 29 へ

問 28-3 問 28-2 で「2. 処方箋以外の連携や指示がある」と回答した方におたずねします。具体的にどのような手段が用いられていますか。(いくつでも○)

1. 診療情報の提供がある→ (① 文書 ② 口頭 ③ その他)
2. 訪問→ (① 医師を訪問 ② 医師が薬局を訪問)
3. 電話
4. ファックス
5. 電子メール
6. ケース会議・カンファレンスに参加
7. その他
- 〔具体的に： _____ 〕

問28-4 問28で「2. 行っていない」と回答した方におたずねします。あなたは、今後、在宅患者訪問薬剤管理指導の届出を行う計画がありますか。
(1つに○)

1. ある →平成()年 } →問29へ
2. 検討中 }
3. ない

問28-5 問28-4で「3. ない」と回答した方におたずねします。その理由はつぎのどれですか。(いくつでも○)

1. 時間がない
2. 報酬が少ない
3. 特に要請がない
4. 保険請求がわからない
5. 在宅の薬剤管理指導が難しいので不安 [具体的に:]
6. 在宅の薬剤管理指導の対応がわからない
7. 自分がしなくてもいいと思う
8. 面倒である
9. その他

問29 あなたは、府中市内で訪問診療を行う在宅療養支援診療所の処方箋をどのくらい取り扱っていますか。(1つに○)

1. ある →1か月平均()人
2. ない

問30 あなたは、在宅で療養生活を送っている府中市民の方のケアマネジャーと連携していますか。(1つに○)

1. 連携している
2. あまり連携していない
3. 連携していない

問31 あなたは、医療と在宅の間で、どんなことに苦労していますか。具体的にお書きください。

問32 あなたは、介護従事者にどのようなことを期待していますか。(いくつでも○)

1. 医療の知識を深めてほしい
2. 介護職としての専門性や技術力を向上してほしい
3. 本人及び介護現場の状況を積極的に医療職に伝える努力をしてほしい
4. ケアマネジャーとの連携を密に行ってほしい
5. その他 [具体的に:]
6. 特に期待はしていない [次は問47へ]

訪問看護師の方におたずねします【問 37～問 41】

問37 あなたは、在宅医療を実施している医療機関と、連携がとれていると思いますか（ア～ウそれぞれ1つに○）

	全くとれていない	あまりとれていない	ある程度とれている	十分とれている
記入例) 24 時間の支援体制	1	2	3	④
ア. 在宅療養者の医療・看護に関する情報の交換	1	2	3	4
イ. 在宅療養者の急変時の対応	1	2	3	4
ウ. 24 時間の支援体制	1	2	3	4

問 37-1 問 37 で1つでも「1. 全くとれていない」、「あまりとれていない」と在宅医療を実施している医療機関との連携がとれていない理由として特筆すべきことがございましたら、ご自由にお書きください。

問38 あなたは在宅医療を实践するうえで、何が在宅医療を阻害する要因とお考えですか。それぞれ優先度の高い順に 内に番号を記入してください。

① 患者・家族側について

1. 患者や家族の在宅医療に対する受入れ意思の難しさ
2. 家族の在宅医療に伴う介護負担の大きさ
3. 患者・家族の経済的な負担の大きさ
4. 患者・家族の在宅医療を受けるにあたっての情報の不足

第1位 第2位 第3位 第4位

② 入院患者を在宅医療へ移行させる病院側について

1. 入院患者に在宅医療につなげようとする意識の低さ
2. 退院支援等を行う力量の不足、在宅医療への移行をコーディネートする専門部署の不足
3. 病院の診療所への逆紹介や患者への退院支援に伴い、算定できる報酬の低さ
4. 在宅医療を提供する医療機関に関する情報の不足

第1位 第2位 第3位 第4位

③ 診療所側について

1. 診療所医師の在宅医療に対する熱意の低さや療養生活全般を支える認識不足
2. 在宅医療を提供する人的資源の不足（在宅医療に従事する医師数・看護師数の不足、24時間対応するための協力体制の未整備、在宅医療に関する専門知識・技術の不足等）
3. 診療所が在宅医療の提供に伴い算定できる報酬の低さ
4. 診療所医師の在宅医療に関連する社会資源等の情報の不足

第1位 第2位 第3位 第4位

④ 訪問看護ステーション側について

1. 訪問看護師の在宅医療に対する熱意の低さ
2. 訪問看護を提供する人的資源の不足（訪問看護師数の不足、24時間対応できる訪問看護体制の確保の困難性、訪問看護業務の範囲の制限等）
3. 訪問看護ステーションが訪問看護の提供に伴い算定できる報酬の低さ
4. 訪問看護師の在宅医療に関連する社会資源等の情報の不足

第1位 第2位 第3位 第4位

⑤ ケアマネジャー側について

1. ケアマネジャーの在宅医療に対する知識や経験の低さ
2. 在宅医療に精通したケアマネジャーの人的資源の不足
3. ケアマネジャーと医療関係者の連携不足
4. ケアマネジャーの在宅医療に関連する社会資源等の情報の不足

第1位 第2位 第3位 第4位

問39 あなたは、在宅医療を実践するうえで、次の1.～5.についてどの状況の改善を優先すべきとお考えですか。優先度の高い順に 内に番号を記入してください。

1. 患者・家族側の状況の改善
2. 患者を在宅医療へ移行させる病院側の状況の改善
3. 在宅医療を担う診療所側の状況の改善
4. 訪問看護を行う訪問看護ステーション側の状況の改善
5. 介護サービスをコーディネートするケアマネジャー側の状況の改善

第1位 第2位 第3位 第4位

問40 あなたは、医療と在宅ケアの間で、どんなことに苦労していますか。具体的にお書き下さい。

問41 あなたは、介護従事者にどのようなことを期待していますか。(いくつでも○)

1. 医療の知識を深めてほしい
2. 介護職としての専門性や技術力を向上してほしい
3. 本人及び介護現場の状況を積極的に医療職に伝える努力をしてほしい
4. ケアマネジャーとの連携を密に行ってほしい
5. その他〔具体的に： _____ 〕
6. 特に期待はしていない 【次は問 47 へ進んでください】

医療ソーシャルワーカーの方におたずねします
【問 42～問 46】

問42 あなたは、どのような地域連携活動を行っていますか。(いくつでも○)

1. 主治医とケアマネジャーとの連携を図る窓口となっている
2. 入院時から退院後の相談に応じている
3. 退院に関する情報を主治医、医療相談、看護師等の担当者間で共有している
4. 地域の介護職を交えて退院前（時）カンファレンスを行っている
5. その他〔具体的に： _____ 〕

問43 貴医療機関における介護保険施設からの患者の受入れ状況と転帰、施設に戻ったケースの状況について、あなたが平成 25 年9月中に担当した人数をご記入ください。

	受入れ人数		転帰人数		施設に戻った人数	
ア. 介護老人福祉施設		人		人		人
イ. 介護老人保健施設		人		人		人
ウ. 介護療養型医療施設		人		人		人
エ. 有料老人ホーム		人		人		人
オ. ケアハウス		人		人		人
カ. グループホーム		人		人		人

問44 あなたは、介護保険施設とどのように連携していますか。(いくつでも○)

1. 介護保険施設の医師から入所者の健康管理や処置の情報を入手している
2. 介護保険施設に訪問診療や往診に行っている
3. 介護保険施設と提携している
4. 急変時に受け入れるベッドを確保している
5. その他（具体的に： _____ ）

問49 医療と介護の連携における「リハビリテーション」について、日頃お考えのこと、また、行政が果たす役割だと思うことを自由にお書きください。

**認知症の人の
医療と介護の連携についておたずねします**

問50 あなたが担当している患者のうち、認知症のある人は何割くらいですか。

割くらい

問51 あなたは認知症の方を治療するときに困ることがありますか。(いくつでも○)

1. 処方した薬の飲み間違いがある
2. 病気に対する適切な対応の仕方がわからない
3. 処方する薬のことがわからない
4. 本人や家族から正確な情報が得られない
5. 治療の方針が理解してもらえない
6. 症状や状態の変化によって治療が難しい
7. その他〔具体的に： 〕
8. 特にない

問52 あなたは、認知症の人の治療を、専門医に紹介することがありますか。

1. ある
2. ない

問52-1 問52で「1. ある」と回答した人におたずねします。どのような目的で照会をしますか。(いくつでも○)

1. 認知症の鑑定診断を依頼する
2. 治療方針の助言を受けるため
3. 処遇に関する参考意見を得るため
4. 治療を依頼するため
5. その他〔具体的に： 〕

問52-2 どのような機関の専門医ですか。(いくつでも○)

1. 認知症疾患医療センターの専門医
2. 高齢者医療の専門機関の専門医
3. 高齢者医療の専門ではないが設備のある医療機関の専門医
4. その他〔具体的に： 〕

問52-3 その時どのようなことが問題になりますか。(いくつでも○)

1. 本人や家族の理解が得られない
2. 適切な医療機関がわからない
3. 照会する先が多忙で時間がかかる
4. 手続きが煩雑で時間がかかる
5. その他〔具体的に： 〕

問53 あなたは、次のような研修等を受けたことがありますか。(いくつでも○)

1. 認知症サポーター養成講座
地域のなかで認知症について正しく理解し認知症の人や家族を温かく見守り、支援する応援者の研修
2. キャラバン・メイト養成研修
地域の認知症サポーター養成講座の企画や講師を務める指導者を育成する研修
3. かかりつけ医認知症対応力向上研修
かかりつけ医に対し、適切な認知症診断の知識、家族からの話や悩みを聞く姿勢を習得する研修
4. 認知症サポート医養成研修
かかりつけ医への助言など、認知症地域医療体制の中核的役割を担う医師を養成する研修
5. その他〔具体的に： 〕

問54 あなたは今後、認知症や認知症の介護に関する研修があれば受けていたいですか。
(1つに○)

1. 受けたい
2. 受けたくない
3. わからない・関心がない

地域包括ケアシステムの構築に向けた 医療と介護の連携についておたずねします

問55 2025年に向けて地域包括ケアシステムの構築が求められていますが、その中で医療と介護の連携は最重要課題であるといわれています。あなたは、これから府中市で医療と介護の連携が進むために、どのようなことが必要だとお考えですか。((1) ~ (4) それぞれ2つまで○)

(1) 連携の仕組みづくり (2つまで)

1. 多職種との顔の見える関係づくり、交流を進める
2. 市内に包括的な医療介護の連携拠点を整備する
3. 医療介護の療養連携共通シートをつくる
4. 患者の情報等をネット上で共有するツールを開発する
5. 摂食嚥下、緩和ケア、認知症の初期集中支援等の多職種チームをつくる
6. その他〔具体的に： 〕

(2) 地域の人材育成（2つまで）

1. 医療と介護の相互理解のための専門研修を進める
2. 栄養士、歯科衛生士等も含めた専門職の人材把握・発掘を行う
3. 多職種が参加して学ぶ事例検討会や学習会を増やす
4. 在宅医療や介護予防に関心のある地域活動リーダーを増やす
5. 在宅医療を担う訪問看護師等の人材育成を進める
6. その他〔具体的に： 〕

(3) サービス・基盤整備（2つまで）

1. 随時対応の訪問介護看護等の在宅サービスを充実させる
2. 病院による、在宅療養の後方支援の仕組みを充実させる
3. 独居の方や医療依存度の高い方が在宅で暮らせる支援策を充実する
4. 医療や介護を受けながら住み続けられる高齢者の住まいを充実する
5. 要介護認定の簡素化など末期がん患者等のサービス利用をしやすいにする
6. その他〔具体的に： 〕

(4) 相談支援・情報提供（2つまで）

1. 市に在宅療養支援相談窓口を設置する
2. 地域包括支援センターに医療連携相談員・支援員を設置する
3. かかりつけ医をサポートする専門医制度をつくる
4. 講座等を開き、市民の「在宅療養」や「看取り」への関心を高める
5. 市内の医療介護、福祉、社会資源マップを作成する
6. その他〔具体的に： 〕

問56 最後に、在宅療養者に対する医療や介護サービスのあり方、その他介護・医療保険制度等を含め、医療と介護の連携についてのご意見、ご要望等がございましたら、ご自由にお書きください。

——ご協力ありがとうございました——